

# 入院する前にワクチンを接種しましょう



## ～接種忘れはありませんか？母子手帳をご確認ください～

ワクチン接種により予防できる感染症には、百日咳、はしか、風疹、水ぼうそう、おたふくかぜなどがあります。これらは適切な時期に適切な回数のワクチン接種をすることで、り患・重症化を防ぐことができます。

入院中にこれらの感染症にかかると

1. 原則、検査・手術が延期になります。
2. 周りのお子さんについてしまうことがあります。免疫や抵抗力が弱いお子さんが感染すると、ときに重症化し、亡くなることがあります。当院にはそのようなお子さんがたくさん入院しています。
3. 症状がでる前から周りの人へ感染する力をもつことがあるので、気づいたときには院内で病気が広がっていることがあります。

### 1. 対象

生後 2 か月以上の免疫正常なお子さん（免疫低下・不全症は対象外です）

※通常の接種時期を過ぎた学童期以降のお子さんも対象です

### 2. 予定入院前のワクチン接種期限

生ワクチン、不活化ワクチンともに入院 2 日前までを目安に、主治医に確認の上、ワクチン接種を進めてください。

#### ▼手術を予定されているお子さん

生ワクチンは 14 日前まで、不活化ワクチンは 2 日前までに接種してください。

（※肝移植を受けられる方は個別に対応致します）

手術を受けることが決まったら、主治医に確認の上、ワクチン接種を進めてください。

※生ワクチンは、麻疹風疹（MR）ワクチン、水ぼうそうワクチン、おたふくかぜワクチン、BCG ワクチン、ロタウイルスワクチンをさします。それ以外のワクチンは不活化ワクチンです。

※ワクチンによる抗体価上昇のためには、入院 2 週間前までにワクチン接種をすることが理想的です。

### 3. 水ぼうそうワクチン

特に、1 歳以上のお子さんは、水ぼうそうワクチンを 2 回接種しましょう。1 回目と 2 回目の接種間隔は通常 3 か月あけますが、入院日までに余裕がない場合は 4 週間経過すれば 2 回目を接種することができます。

入院が決まったらワクチン接種を今一度確認し、主治医・かかりつけ医と相談してワクチン接種を進めてください。ご不明な点がありましたらいつでも主治医、看護師にお尋ねください。